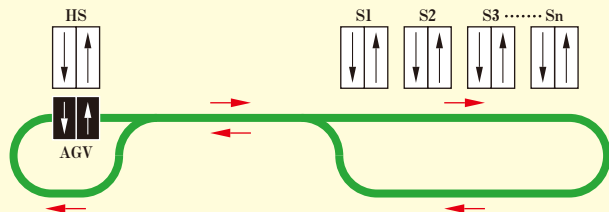


走行パターン

基本型 1 ラケット走行

適した環境

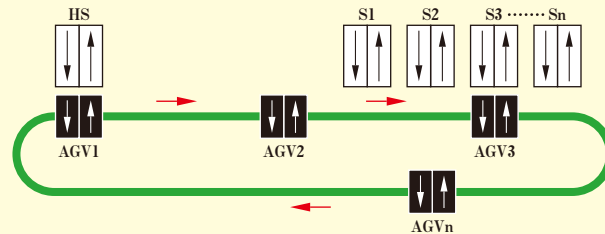
- 複数のクリフォームカートを使用できない
- 長距離
- 搬送物の量・頻度が少ない



基本型 2 ループ走行

適した環境

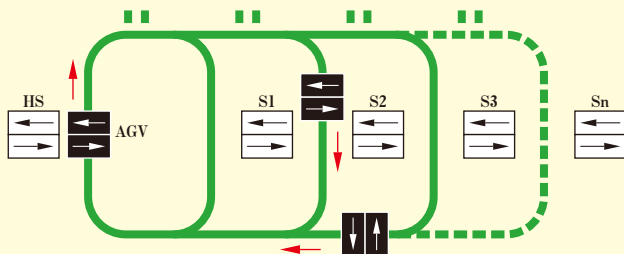
- 複数のクリフォームカートが使用できる
- 搬送物が多い場合の行程間搬送



基本型 3 複数ルート

適した環境

- 複数のクリフォームカートが必要
- 各ステーションの個別呼出し対応が必要



基本型 4 前後進走行

適した環境

- 通路が狭い
- ラケット・ループができない

